

## 市場まつり

市場まつりが7月25日、八重垣神社の伝統行事・駒まねに併せて本町通り商店街で開かれました。歩行者天国となった通りには出店が並び、特設ステージではショーやダンスが行われるなどし、夏の夜市にゆかた姿の家族連れなど大勢の人が訪れました。

夜が近づき多くの人が行き交う会場



元気よく渡御する子ども神輿



## のさかふれあい祭り

のさかアリーナ周辺を会場に7月25日、のさかふれあい祭りが開かれました。元気いっぱいの子ども神輿が野栄総合支所から会場に向けて練り歩いた後は、やぐらが組まれた広場で、のさか太鼓の演奏やピアダンス、よさこいソーラン、民謡など、盛りだくさんの内容が披露されました。

## ふれあいパーク夏祭り

ふれあいパーク八日市場では7月25、26の両日、恒例の夏のイベントが開催されました。25日は「洋」をテーマにギターライブが、同様に26日は「和」でお囃子の披露や神輿渡御などが行われ、多くの人でにぎわいました。



神輿渡御は飛び入り参加で盛り上がる(26日)

## 海外の友人と作った“輪”

タイのボーイスカウトがホームステイ

山口県で7月末に開催された世界規模のスカウトの大会「世界スカウトジャンボリー」に関連し、タイ隊のボーイスカウトメンバー2人が市内でホームステイをしました。ホームステイをしたのは、ミューさん(高校1年)とオムさん(中学3年)で、ジャンボリーに参加したボーイスカウト団第1団の栗本明穂さん宅(八日市場イ)に8月8日から3日間滞在。都内観光や市内のスカウトメンバーとの交流会を通じて、両国の絆を深めました。栗本さんは、「ジャンボリーのテーマ“和”を通じて“輪”ができたと思う。いい経験になった」と話し、他国の文化に触れた約2週間の思い出を振り返りました。



日本とタイ両国のスカウト制服を持つ、栗本さん、オムさん、ミューさん(左から)



市役所を訪れた田中選手。手に持っているのは優勝と個人賞のトロフィー

田中選手 全米V報告  
日本チームの勝利に貢献

中学生硬式野球のアメリカ大会「MCYSA全米選手権大会」に日本代表メンバーとして参加した田中佑弥選手(匠瑳リトルシニア所属。八日市場二中3年)が8月10日、市役所を訪れて太田市長に優勝を報告しました。

田中選手は、1番センターとして全10試合にフル出場し、打率は4割近く。最優秀選手に贈られる「ゴールドグラブ賞」を受けるなど、日本チームの優勝に貢献しました。太田市長が田中選手に感想を尋ねると、「パワーがあり、レベルも高かったので強引に打ちにいかず、センター返しを意識しました」と大会を振り返りました。  
※田中選手のインタビューは、今月号18ページ「はつらつ」のコーナーに掲載しています。

# 地域の伝統行事

## 駒まね

(7月25日)



江戸時代から伝わる八重垣神社の行事。境内の一隅に注連縄を張って祭場をつくり、そこで青竹を焼いて五穀豊穰、商売繁盛、無病息災を祈るもので、持参した青竹を手に参詣を待つ人たちが100m近い行列ができていました(=写真)。

## 筈部田・星宮神社祭礼

(7月25、26日)

25日は、水ヨーヨー釣りや輪投げ、綿あめなど子ども向けの出店が並ぶ「祭り広場」を開催。地元囃子連のお囃子も披露され、多くの人でにぎわいました。

26日は、3基の神輿が繰り出し、大きな掛け声で1日かけて地区内を渡御しました(=写真)。



## 東谷・八坂神社祇園祭

(7月30日)



「けんか神輿」との異名をとるほど激しい揉み方が特徴の八坂神社祇園祭。地区内を神輿が渡御すると、招かれた家々の庭先や路上で神輿を大きく揺らし、時には地面に押し倒す場面もあり、その迫力に見物人から歓声が上がりました(=写真)。

## 片子の盆綱

(8月14日)

各家庭から持ち寄ったわらで、巨大な綱を編み上げる片子地区の盆行事。3人がかりでおよそ2時間かけて編まれた盆綱は、20mに達する長さで、妙印寺境内の2本の大木の間で吊るされました(=写真)。



## 八日市場の盆踊り

(8月22日)



県指定無形民俗文化財「八日市場の盆踊り」の定例発表会が、八日市場公民館駐車場で開かれました。中央に座った、砂原、米倉両区の囃子連を囲んで踊るスタイルで、両囃子連が交互に奏でる「権左が西国」や「東上総」などの音色に合わせて、踊りが披露されました(=写真)。

## 平和の像に千羽鶴をささげる

— 過去最多 8万5千羽寄せられる

市の平和事業の一環として8月1日、中学生やボーイスカウト、ガールスカウトのメンバーなど約40人が参加して、八日市場駅前の平和の像に千羽鶴をささげるセレ



千羽鶴をささげる中学生

モニーが開催されました。

セレモニーは、平成8年から毎年8月に実施され、今年で20回目。市内の学校や福祉施設、市民などの皆さんが折った千羽鶴は、過去最多の8万5千羽が寄せられました。

## 交流の絆 輪になり深める

— 国際交流バーベキューパーティー

市国際交流協会主催のバーベキューパーティーが8月16日、吉崎浜野外活動施設で開催され、7か国104人が参加しました。

日も落ち辺りが暗くなりはじめると、お待ちかねのバーベキューを開始。参加者は鉄板を囲んで話



輪を作り踊る参加者

に花を咲かせ、キャンプファイヤーが照らす中、市内よさこいグループ・楽天舞がよさこいソーランを披露。楽天舞メンバーが「皆さんも一緒に」と声をかけると、全員が輪になって踊り、交流を深めました。

## 津波避難タワー 完成

— 150人収容可能な一時避難施設

津波からの緊急的な一時避難施設として、今泉浜地先に建設していた津波避難タワーが完成し、地域住民を対象にした見学会が8月23日に開かれました。この日は約50人の見学者があり、皆さん真剣な表情で構造を確認。見学を終えた今泉第4区長の川口信雄さんは「津波が無



完成した津波避難タワー

いに越したことはないが、近隣の人は安心できるのでは」と話していました。

タワーは鉄骨造りで、第1(地上高8.7m)、第2(同6.2m)の2段の避難スペースを設け、それぞれ100人、50人を収容可能。階段とスロープの2方向の動線を確認し、震度5以上の揺れを感じて自動開錠する入口扉を備えます。